

## 東京都立高等学校入学者選抜英語検査改善検討委員会（第3回）会議要旨

- 1 日時 平成29年10月10日（火） 午前10時30分から午後0時30分まで
- 2 会場 都庁第一本庁舎25階 105会議室
- 3 欠席者 長田委員、松永委員、井上委員
- 4 協議内容（意見要旨）

### （1）英語検査改善の具体案

（東京都の位置付け）

- 民間の外部検定試験等の仕組みを活用することを検討するべきである。ただし、問題の内容については、学習指導要領に準拠するものとするべきである。

（内容）

- 4技能の評価のバランスについて、検討する必要がある。
- 問題の弁別性を担保するために、難易度の調整や問題数の確保が必要である。
- 高校で授業を受けるのに必要となる基本的な能力を問うべきである。

（実施時期）

- 私立高校志望者にも十分配慮して実施時期を設定するべきである。

（対象者）

- 私立高校入試や他県での利用も想定できる。

（実施方法）

- タブレット端末は「話すこと」及び「聞くこと」の検査に適している。
- タブレット端末で実施する場合は、機器に不具合があった場合の対応や受験環境の整備について検討する必要がある。

（外部検定試験の活用）

- 外部検定試験を活用する場合は、受験機会の公平性を担保するべきである。
- 受験者の費用負担の在り方について検討するべきである。

（その他）

- 入学者選抜において、「話すこと」についての学習の成果を評価することは大きな意義がある。また、併せて「使える英語力」を育成するための施策を引き続き推進すべきである。

### （2）今後の検討事項

- 引き続き、次の内容について検討するべきである。
  - ・ 都立高等学校入学者選抜への検査結果の具体的活用方法
  - ・ 費用負担の在り方
  - ・ 私立高等学校等との調整

### （3）その他

- 他県からの受験者について、配慮する必要がある。
- 特別な配慮を要する受験者について、対応を十分に検討する必要がある。